ふくしまの警察

令和7年（2025年）版

令和７年福島県警察業務運営指針

【基本姿勢】福島を支える力強い警察

～県民とともに創り上げる福島のために～

【重点目標】

- 県民の安全と安心を守る犯罪抑止対策の推進
- 街頭活動の推進による地域の安全と安心の確保
- 県民が不安を感じる犯罪の徹底検挙と組織犯罪対策の推進
- 総合的な交通事故防止対策の推進
- 大規模災害や県民生活を脅かす事態への的確な対処
- サイバー空間の脅威への的確な対処
- 県民のための強く、やさしく、開かれた組織づくり

【 目　次 】

- 福島県警察の体制 …… 1p
- 警務部 …… 3p
- 生活安全部 …… 4p
- 地域部 …… 5p
- 刑事部 …… 6p
- 交通部 …… 7p
- 警備部 …… 8p
- 警察学校と警察官募集 …… 9p
- 各種情報発信ツール …… 10p

福 島 県 警 察 本 部

福島県警察本部

〒960−8686
福島県福島市杉妻町5番75号
☎024−522−2151

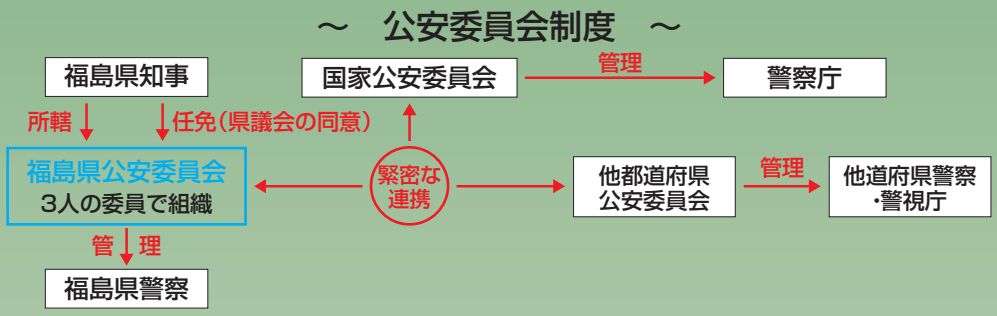
福島県警察の体制

1　福島県公安委員会

公安委員会制度は、警察行政の民主的運営、政治的中立性の確保の点で大きな役割を果たしており、県公安委員会を置いて県警察を管理しています。

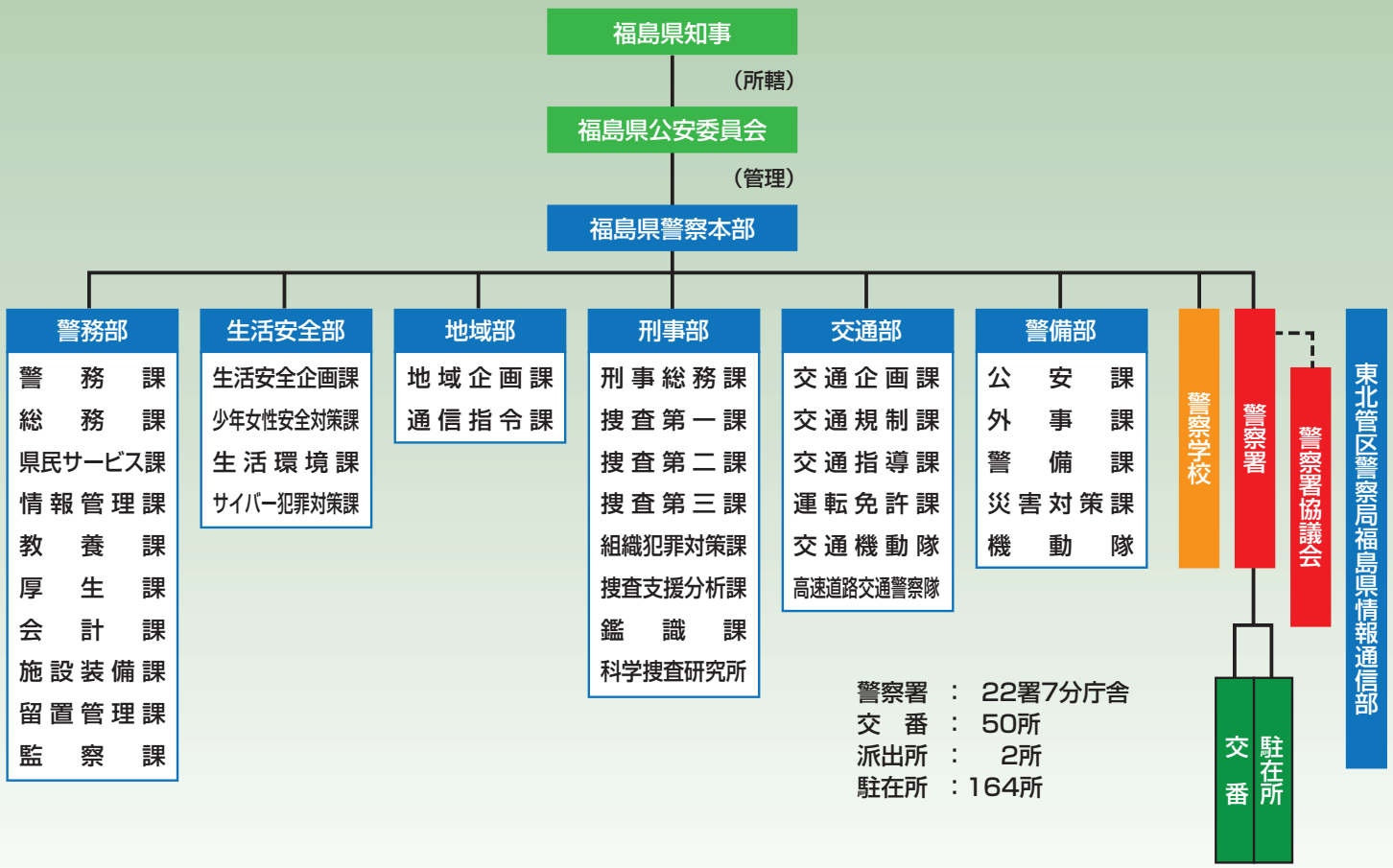
県公安委員会は、定例会議の場で警察本部長等から、事件・事故、災害の発生状況とそれを踏まえた警察の取組、組織の運営状況について報告を受け、これを指導することにより県警察を管理するとともに、運転免許、交通規制や古物営業等の監督の事務を処理しています。また、警察署協議会への参加、警察活動の現場視察等により治安情勢と警察運営の把握に努めています。

福島県公安委員会は、3人の非常勤の委員で組織され、委員は、知事が県議会の同意を得て任命します。



2　福島県警察の組織

福　島　県　警　察　の　組　織



3　福島県警察の職員･装備等

（1）　福島県警察の職員

警察官 ……3,433人

警察行政職員 …… 492人　　（令和7年4月1日現在の条例定数）

（2）　福島県警察の装備

ア　警察用車両

警察用車両として、パトカー、捜査用車、交通事故処理車、白バイ、機動隊の特殊車両等を県内に約1,500台配置しています。令和6年には、燃料電池パトカーを1台導入しました。

警察の機動力の要として、事件･事故の捜査、犯罪の予防、交通取締り、災害発生時における人命救助など、警察活動全般にわたり活用されています。

燃料電池パトカー

白バイ

イ　警察用船舶

小名浜港および猪苗代湖に警察用船舶を配備し、入港船に対する訪船活動や水上における警ら、事故防止広報などを行っています。

警備艇「おなはま」

ウ　警察用航空機

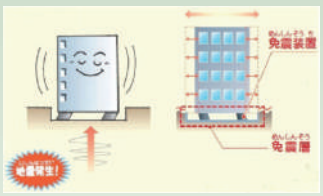
空からの警察活動を行うためヘリコプターを配備し、災害警備活動をはじめ、遭難者の捜索･救助、事件捜査や交通取締りなど、幅広い活動を行っています。

警察ヘリコプター「ばんだい」

4　警察本部庁舎の特徴

免震構造による耐震性の確保

大規模な地震が発生しても、警察本部機能を維持するため、高層棟部分に免震構造を採用して、建物の揺れを軽減しています。



吾妻山噴火に備えたかさ上げ建設

福島市の西方に位置する吾妻山が積雪時に噴火した場合の融雪泥流対策として、地下室を設けず、躯体を50センチメートルかさ上げしました。

非常時対応諸室の集約

2階を災害時対応フロアとし、通信指令課や交通管制センターなどの非常時対応諸室を集約するとともに、1階と2階の間に傾斜の緩やかなスロープを設置することで停電時でも大型資機材の搬入を可能としました。

インフラ断に対する機能

電力や上下水道等の各種インフラが断たれた場合に備え、非常用発電機など復旧までの期間、独力での業務継続を可能とする設備を設置したほか、7階建てと比較的低層階にすることで、エレベーターに頼らない庁舎としました。

警務部

～県民のための強く、やさしく、開かれた組織作り～

1　福島県警察音楽隊

福島県警察音楽隊は、「県民と警察を結ぶ音の架け橋」として、県内各地で交通安全運動などの公共的な諸行事での演奏のほか、小･中学校をはじめとする各種学校での安全コンサート、高齢者教室での演奏など県内各地で幅広い演奏活動をしています。

また、毎年「県民と警察を結ぶ演奏会」を開催しています。

派遣演奏を希望される方は、下記までお問い合わせください。

【警察本部総務課広報室　　024−522−2151（代表）】

福島県警察音楽隊によるパレード

2　庁舎見学

警察本部庁舎では、随時、庁舎見学を受け付けています。

小･中学校の授業の一環としての見学や、高齢者団体による見学など、様々な方に見学して頂けます。

見学を希望される方は、下記までお問い合わせください。

※事件･事故、災害の発生等やむを得ない理由で中止する場合があります。

【警察本部総務課広報室　　024−522−2151（代表）】

庁舎見学

3　警察安全相談

犯罪等による被害の未然防止に関する相談、その他県民の安全と平穏に係る相談について、相談窓口を設けています。

【面接･電話相談】

・警察本部県民サービス課　　024−522−2151(代表)

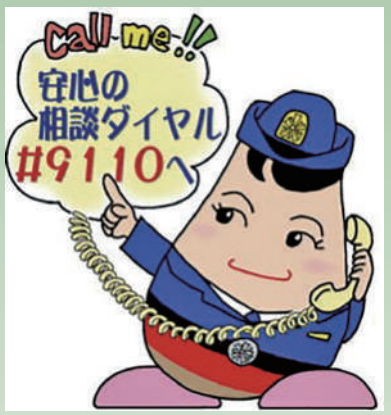
【電話相談】

・警察安全相談　　#9110又は024−525−8055

・いじめ110番（いじめ相談）　　0120−795−110

・ヤングテレホン（少年相談全般）　　024−525−8060

※月～金曜日　9:00～17:00（年末年始、祝日を除く）



4　「被害者に優しいふくしまの風運動」の推進

毎年度「支援の輪を広げるつどい」を開催して、犯罪被害者の実情や被害者支援の必要性･重要性への理解を深めていただく活動を推進しています。

【問い合わせ先】

・警察本部県民サービス課　　024−522−2151（代表）

【相談ダイヤル】

・（公社）ふくしま被害者支援センター　024−563−3724

・SACRAホットライン　　024−563−3722
　　又は#8891

・性犯罪110番　　0120−503−732
　　又は#8103

支援の輪を広げるつどい

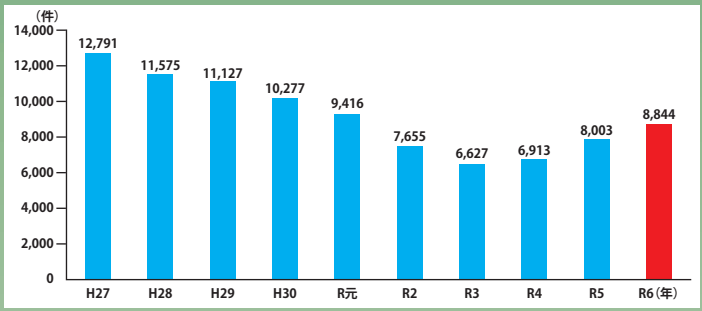
生活安全部

～県民の安全と安心を守る犯罪抑止対策の推進～

1　刑法犯認知件数の推移と特徴

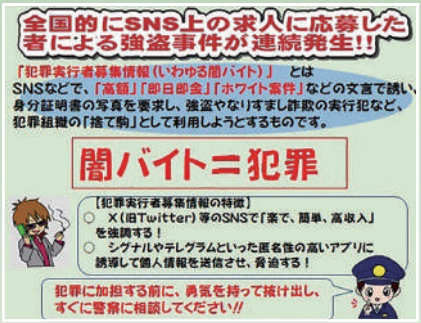
県内における刑法犯認知件数は、平成15年から令和3年までの19年間減少し続けていましたが、令和4年から増加に転じています。万引きと自転車盗難の発生が特に多く、令和6年の認知件数の約3割を占めています。

〈刑法犯認知件数の推移（年間）〉



2　少年の非行と保護対策の推進

令和6年中における非行少年の検挙・補導人員は360人（前年比+105人）、深夜はいかいや喫煙等で補導された不良行為少年は、1,620人（前年比+252人）でした。県警察では少年警察ボランティア等と連携した街頭補導活動や、少年非行の要因・背景を踏まえた地域住民等への広報啓発活動など、少年の規範意識の向上と地域社会との絆の強化を図る取組を通じて「非行少年を生まない社会づくり」を推進しました。また、SNS等の利用に起因して犯罪被害に遭う少年が後を絶たないことや、全国的にいわゆる「闇バイト」と呼ばれる犯罪実行者募集情報によって強盗や詐欺などの犯行グループと少年が関わってしまうケースが散見されることから、学校等と連携した情報モラル教育を推進しています。



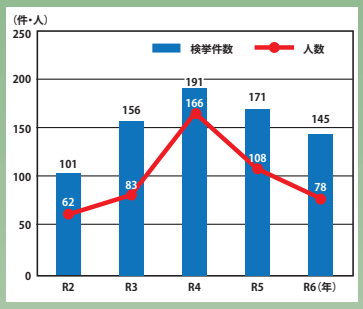
3　こども・女性・高齢者等の安全を確保するための取組の推進

ストーカー事案、DV事案、行方不明事案、児童虐待事案、高齢者虐待事案等の安全を早急に確保する必要が認められる人身安全関連事案が後を絶ちません。県警察では、警察本部と警察署が一体となった組織的対応を徹底し、被害者やその家族などの安全確保を最優先に、迅速・的確な対応を推進しています。

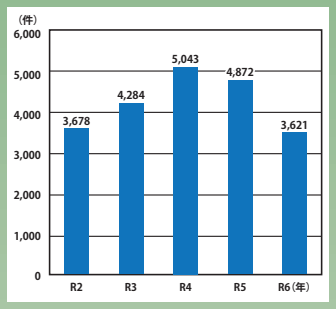
4　サイバー事案の検挙件数と相談受理状況

令和6年中は不正アクセス禁止法違反等、145件78人（前年比−26件、−30人）を検挙しました。サイバー事案等に関する相談受理件数は、3,621件（前年比−1,251件）で「ショッピングサイトで商品を購入し代金を振り込んだが商品が届かない」など、詐欺・悪質商法関係の相談が1,408件と全体の約4割を占めたほかクレジットカード犯罪被害に関する相談や、不正アクセス関係の相談が増加傾向にあります。

〈サイバー事案等検挙件数・人数〉



〈サイバー事案等相談受理件数〉



5　生活経済事犯や生活環境を脅かす事犯対策の推進

令和6年中は偽造品の販売等により商標権を侵害した生活経済事犯、危険な盛土造成や不法投棄等の環境事犯、違法な賭博店や風俗店等の風俗関係事犯等324件（前年比+67件、+53人）を検挙するなど、県民生活を脅かす事犯の取締りを推進しました。

また、ヤミ金等の犯罪に利用された預貯金口座や携帯電話等の犯行ツール対策を徹底し、犯罪被害の拡大防止を推進しています。

商標法違反で押収した証拠品

地域部

～街頭活動の推進による地域の安全と安心の確保～

1　街頭活動の推進

事件･事故の抑止と犯罪の取締りのため、人の往来が多い時間帯における立番やパトロール、職務質問を強化するなど、制服姿の地域警察官による街頭活動を推進しています。

また、受持担当警察官の巡回連絡による管内の実態把握のほか、災害や交通危険箇所を把握し、住民が犯罪や事故に遭わないよう効果的な広報活動に努めています。

職務質問の状況

2　避難指示解除区域等における安全と安心の確保

避難指示解除区域等における住民の安心感を醸成するため、関係機関･団体と連携したパトロールや巡回連絡、職務質問、取締りを強化して、犯罪の未然防止と取締りに努めています。

パトロールの状況

3　迅速・的確な初動警察活動の推進

事件･事故が発生した場合は、通信指令課を中心に県警察本部と警察署が連携して迅速･的確な初動警察活動を行い、犯人の早期検挙と被害拡大防止に努めています。また、水難･山岳遭難発生時は、関係機関･団体等と連携し、迅速･的確な捜索救助活動を行います。

通信指令課

指令

パトカー、警察用航空機、船舶

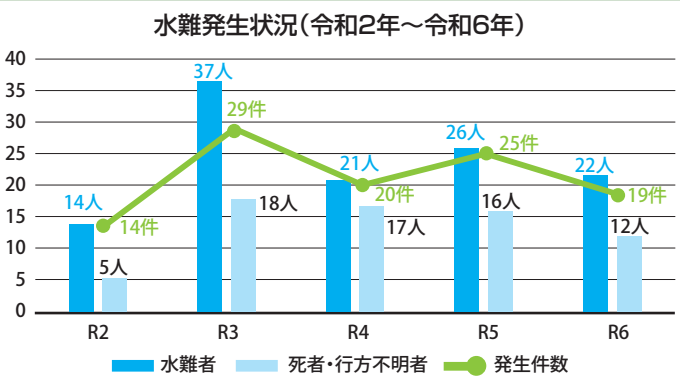
臨場

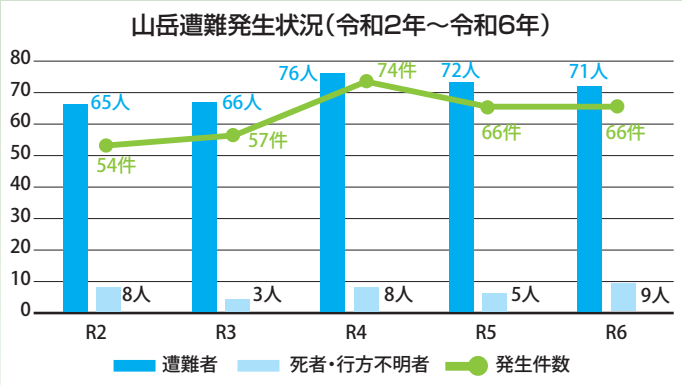
犯人の検挙

(1)　110番受理件数

	27	28	29	30	R元	2	3	4	5	6
総受理件数	115,490件	113,492件	117,207件	112,801件	107,314件	93,823件	93,743件	110,314件	126,672件	113,927件
有効受理件数	92,429件	89,852件	87,809件	84,353件	83,337件	71,759件	72,789件	78,482件	85,225件	83,356件
非有効受理件数	23,061件	23,640件	29,398件	28,448件	23,977件	22,064件	20,954件	31,832件	41,447件	30,571件

(2)　水難･山岳遭難状況





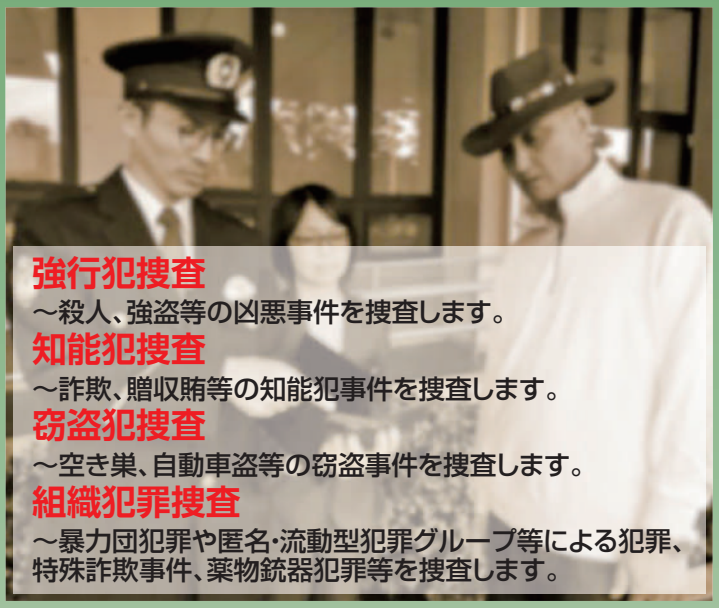
(3)　事案対応能力の向上

県民に危害が及ぶおそれのある事案に適切に対処するため、関係機関･団体と連携した実践的訓練を実施し、事案対応能力の向上に努めています。

刑事部

～県民が不安を感じる犯罪の徹底検挙と組織犯罪対策の推進～

1　刑事の仕事



強行犯捜査
～殺人、強盗等の凶悪事件を捜査します。
知能犯捜査
～詐欺、贈収賄等の知能犯事件を捜査します。
窃盗犯捜査
～空き巣、自動車盗等の窃盗事件を捜査します。
組織犯罪捜査
～暴力団犯罪や匿名･流動型犯罪グループ等による犯罪、特殊詐欺事件、薬物銃器犯罪等を捜査します。

【臨場】
事件が発生した際には迅速に臨場、的確な捜査により犯人を早期に検挙します。

【鑑識】
現場鑑識活動で収集した客観的証拠から犯人を特定します。

【鑑定】
DNA型鑑定、プロファイリング等の科学捜査を活用し、犯罪を立証します。

【捜査支援分析】
情報収集･分析により捜査活動を支援します。

2　犯罪との対峙

刑事は悪質･巧妙化する犯罪に的確に対応し、日夜、犯罪と対峙しています。

バスジャック対応訓練

大麻栽培現場の摘発

被疑者連行

3　匿名・流動型犯罪グループに対する取組

近年、暴力団と異なりSNSなどを通じ、緩やかな結び付きで離合集散を繰り返すなど、繋がりが流動的かつその活動実態を匿名化･秘匿化する「匿名･流動型犯罪グループ」が治安対策上の脅威となっています。

警察としては、各部門の垣根を越えて、匿名･流動型犯罪グループの実態解明、情報の収集と共有、繁華街･歓楽街対策と取締りの強化といった各種対策に取り組んでいます。

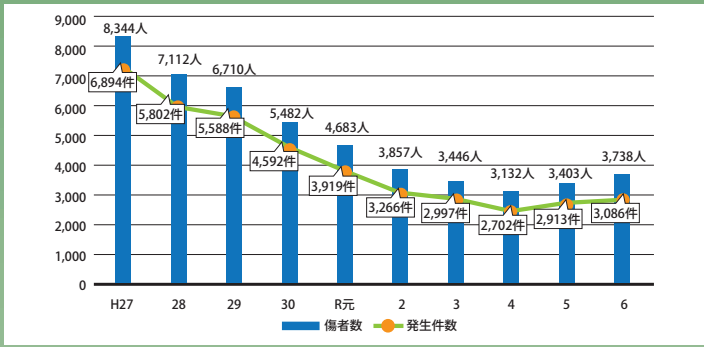
郡山駅前における繁華街対策

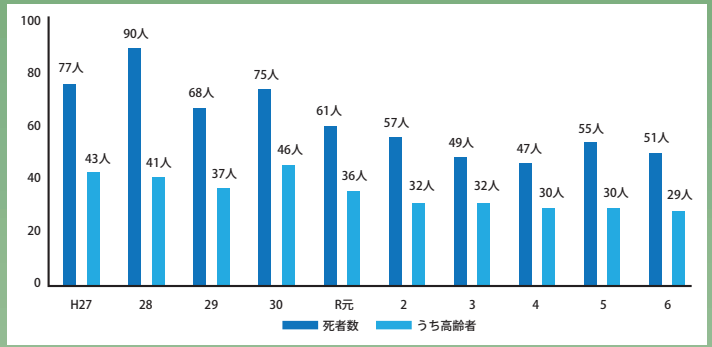
交通部

～総合的な交通事故防止対策の推進～

1　交通事故の発生状況

令和6年中における交通事故は、発生件数3,086件（前年比+173件）、死者数51人（前年比−4人）、傷者数3,738人（前年比+335人）と発生件数と傷者数は増加しましたが死者数は減少しました。





2　交通安全教育の推進

受講者の理解度に応じた交通安全に関する知識が習得できるよう、視聴覚教材や各種シミュレータを活用した参加･体験･実践型の交通安全教育を令和6年中に920回、延べ47,026人に実施しました。

そのうち、高齢者の交通安全教育は、385回、延べ6,492人に実施しており、高齢運転者の交通安全教育として、運転能力診断システムを活用した交通安全教育委託事業、新規導入した可搬型ドライブシミュレータを活用したほか、高齢歩行者の交通安全教育として歩行者シミュレータを活用しています。

シミュレータ等を使用した安全教育

3　安全で快適な道路交通環境の整備

（1）　交通実態に即した交通規制の推進

道路整備等による交通実態の変化や交通事故発生状況等を踏まえた効果的かつ効率的な信号機、道路標識等の整備を推進しています。

（2）　生活道路･通学路等における人優先の交通安全対策の推進

最高速度30㎞/hの区域規制と物理的デバイス設置による「ゾーン30プラス」の整備に向けて、道路管理者等と連携して取組を推進しています。また、視覚障害者や高齢者等が交差点を安全に横断するのを支援するために、歩行者用信号機の表示をスマートフォンを通じて音声で知らせる高度化PICSの導入を推進しています。

4　交通事故抑止に資する交通指導取締り

地域住民からの要望などを踏まえ、飲酒運転、速度超過、交差点関連違反等、交通事故に直結する悪質性･危険性の高い違反、駐車違反等の迷惑性の高い違反、自転車･電動モビリティによる悪質･危険な違反に重点を置いた交通事故抑止に資する交通指導取締りを実施しています。

5　高齢運転者へのサポート

安全運転相談の窓口や安全運転相談ダイヤル「＃8080」を通じて、病気や加齢による身体機能の低下等の理由により、自動車の運転に不安を感じる方やその家族の方に安全な運転の継続に必要な指導や助言を行ったり運転免許証の自主返納等について説明するなど、細やかな支援を行い、交通事故防止対策を推進しています。

警備部

～大規模災害や県民生活を脅かす事態への的確な対処～

1　大規模災害対策等の推進

災害警備訓練の状況

大規模災害等に備え、災害警備部隊の対処能力向上や関係機関との連携強化を図るため、実戦的な各種訓練を実施しています。また、福島県以外の地域で大規模災害が発生した場合には、被災地域へ部隊を派遣して救出救助活動等を行っています。

石川県（能登半島地震）派遣の状況（R6.1）

2　復興治安対策の推進

避難指示区域等の情勢の変化を的確に把握しながら、警戒警らや捜索活動、被災地域の居住者や避難者の安全･安心の確保等、治安面から被災地域の復興･創生を支える活動を行っています。

行方不明者捜索活動

住民とのふれあい活動

帰還困難区域内の警戒警ら

3　テロ対策の推進

テロを未然に防止するため、関係機関等が加盟する「テロ対策パートナーシップ福島」等と連携した官民一体のテロ対策を推進しているほか、重要施設等の警戒警備を強化しています。

テロ対処訓練

4　情勢に応じた的確な警衛・警護の実施

警衛･警護ともに、各種対策を確実に実施することにより、安全確保に万全を期しています。また、情勢に応じた的確な警衛･警護を実施できるよう、実際の現場に近い想定訓練を反復して行い、現場対処能力の向上及び部隊間の連携強化を図っています。

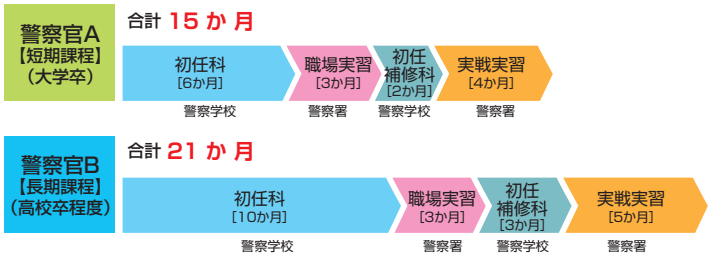
警護訓練

警察学校と警察官募集

1　警察学校の生活

警察学校では、警察官として勤務するために必要な気力･体力･知識･技能を身につけます。法律的な知識、捜査や交通等の実務に関する技能、柔道･剣道･拳銃･逮捕術といった術科訓練から養われる力を習得するだけでなく、全寮制の集団生活を通じ、同期生との絆や連帯意識を育むことができます。

採用時教養システム



初任科

警察官として必要な基礎的知識･技能を学びます。

職場実習

初任科を卒業後、福島県内の各警察署に配属され、指導員の下で実務を学びます。

初任補修科

再び警察学校に入校し、専門的知識・技能を総合的に学びます。

実践実習

最後に、警察署で実務の復習を行います。実戦実習を終えれば、もう一人前の警察官です。

2　採用後の給与など

	警　察　官	警　察　事　務
大学卒（大学新卒者）	２６２，６００円	２３０，３００円
高校卒等（高校新卒者）	２２４，８００円	１９８，０００円

【昇　給】毎年1月に前年度の勤務成績に基づいて行われます。
【諸手当】期末･勤勉手当（ボーナス）、扶養手当、住居手当、単身赴任手当等が支給されます。

3　採用について

（1）　採用試験の特徴

［警察官B試験年2回実施］

●警察官B（第1回）第1次試験を春に実施
　17歳以上33歳未満の方で以下に該当しない方
　･大学を卒業又は卒業見込みの方
　･高等学校に在学中の方
●警察官B（第2回）第1次試験を秋に実施
　･高等学校在学中の方も対象

［第1次試験の特徴］

●独自の試験日程
　→他の試験と併願ができる!
　　警察官A（第1回）
　　警察官B（第1回）
●東京でも受験可能
　→福島会場だけでなく、東京会場でも受験ができる!
　　警察官A（第1回）
　　警察官B（第1回）
　　警察事務（大学卒程度）

［第2次試験の特徴］

●リセット方式
　→第1次試験の点数をリセットするため、第1次試験の点数に左右されず、第2次試験（面接や体力検定等）のスタートラインは全員一緒!（警察官の試験のみ。）
●身長等の制限なし
　→警察官として必要な身体的状態が備わっていれば大丈夫!

（2）　合格から採用まで

教養試験
論（作）文試験

第1次試験 ➡ 第2次試験 ➡ 最終合格 ➡ 内　定 ➡ 採　用

口述試験（個別面接･集団討論）
適性検査･体力検査･身体検査

採用についてのお問い合せは

福島県警察本部
警務部警務課採用係
TEL 024-522-2151㈹

採用フリーダイヤル
（平日の午前9時～午後5時）
0120-276-314
お気軽にお電話ください。

試験に関する情報はこちら
県警採用案内HP

各種情報発信ツール

福島県警察では、県民の皆様に、安全・安心な生活を送って頂くために、各種ツールを活用して、情報発信をしています。

YouTube福島県警察公式チャンネル

警察業務の紹介や、県警音楽隊の演奏、犯罪被害防止などの動画を掲載!

福島県警察ホームページ

様々な手続きや警察業務全般に関する内容を掲載しています。

POLICEアプリふくしま

発生情報マップ　防犯ブザー　注意喚起機能

犯罪や交通事故の発生状況が地図上で確認することができたり、防犯ブザー機能やATM利用時の注意喚起機能などを搭載した福島県警察スマートフォンアプリです。

POLICEアプリふくしま　検索

＼インストールはこちら

POLICEメールふくしま

こんな情報が届きます

- □なりすまし詐欺情報
- □犯罪発生情報
- □不審者情報
- □地域安全情報
- □交通安全情報
- □防災情報
- □お知らせ

こんな特徴があります

配信を希望する警察署を選択できます!
↓登録はこちら

福島県警察公式（X、Instagram、Facebook）

福島県警察では、公式SNSでも様々な情報発信をしています。
安全・安心な情報が満載です!是非、フォローしてください!

福島県警公式X　福島県警公式Instagram　福島県警公式Facebook

FUKUSHIMA_POLICE